

平成29年度の重点テーマについて

子どもは地域の宝であり、本県の将来を担う大切な財産です。県内でも、その前兆である声かけ事案の発生が続いていることから、引き続き県民の皆さんで「子どもを守る」という共通認識を持ち、それぞれの地域での見守り活動を進める必要があります。

高齢化が進む本県では、交通事故、特殊詐欺や悪質商法などの犯罪被害に遭う高齢者が後を絶ちません。これらの被害を防ぐため、自主防犯ボランティアなどによる訪問活動などが行われています。こうした活動の輪を県内全域に広げ、一層充実させていくことが重要です。

乗り物盗や車上ねらい事件は、その多くが鍵をかけていない状態で被害に遭っています。また、住宅をねらった侵入盗被害についても、無締まり箇所から侵入される被害が目立ちます。「鍵かけ」といった基本的な防犯対策を通して「自らの安全を自らで守る」意識を高めてもらうことが必要です。

振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害は全国的に減少はしているものの、県内ではいまだに年間で1億円を超える被害が発生しており、また、新しい手口が次々に出て来ていることから、今後も被害の発生を防ぐための継続した取組が必要です。

以上のことから、平成29年度の重点テーマを次のとおり定めます。

重点テーマ

地域で子どもを見守ろう

高齢者などを事故や事件から守ろう

鍵かけ運動を進めよう

特殊詐欺の被害を防ごう